

## 1 県 土

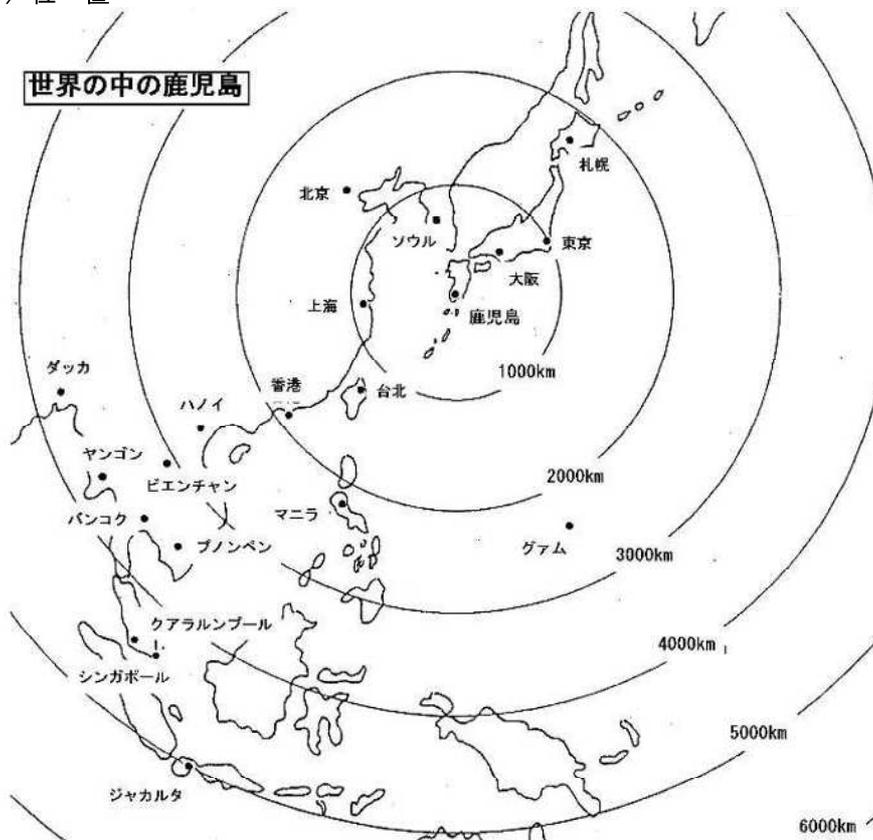
本県は、我が国本土の西南部に位置し、その総面積は約9,186km<sup>2</sup>で全国第10位、2,643kmの長い海岸線を持ち、太平洋と東シナ海に囲まれた南北約600kmにわたる広大な県土を有している。

気候区は温帯から亜熱帯に至り、全国の中でも平均気温が高く、温暖な気候に恵まれている。

種子島、屋久島、奄美群島をはじめとする多くの離島は、本県総面積の約27%と大きな比重を占めている。

中央部を南北に霧島火山帯が縦断し、北部の霧島から南海のトカラ列島まで11の活火山が分布しており、豊富な温泉にも恵まれている。また、県下のほとんどの地域が火山噴出物であるシラス層によって厚く覆われている。

### (1) 位 置



極 所 の 経 緯 度 及 び 距 離					
方位	地 名	経 緯 度	方位	地 名	経 緯 度
極東	志布志市志布志町後谷	東経131度12分 北緯 31度34分	極南	大島郡与論町チヂ崎	東経128度26分 北緯 27度02分
極西	大島郡与論町兼母海岸	東経128度23分 北緯 27度03分	極北	出水郡長島町蜂の島	東経130度15分 北緯 32度18分
東西約 267km			南北約 586km		

資料：国土交通省国土地理院

## (2) 地域特性

総面積	1 2 10	北海道 北岩 … 鹿児島	83,422 km <sup>2</sup> 15,275 … <b>9,186</b>
海岸線延長	1 2 3	北海道 長崎 鹿児島	4,439 km 4,167 <b>2,643</b>
年平均気温	1 2 3	沖縄 鹿児島 宮崎	23.7 °C <b>19.3</b> 18.2
離島面積	1 2 3	鹿児島 長崎 沖縄	<b>2,483</b> km <sup>2</sup> 1,550 1,012
温泉源泉数	1 2 3	大分 鹿児島 北海道	5,086 本 <b>2,735</b> 2,239
肉用牛飼養頭数	1 2 3	北海道 鹿児島 宮崎	559 千頭 <b>363</b> 258
豚飼養頭数	1 2 3	鹿児島 宮崎 北海道	<b>1,200</b> 千頭 752 722
ブロイラー飼養羽数	1 2 3	鹿児島 宮崎 岩手	<b>32,003</b> 千羽 28,155 23,604
竹林面積	1 2 3	鹿児島 福岡 大分	<b>20</b> 千ha 15 14
農業産出額	1 2 3	北海道 鹿児島 茨城	13,478 億円 <b>5,438</b> 4,571
海面漁業・養殖業産出額	1 2 3 4 5	北海道 長崎 愛媛 宮崎 鹿児島	3,135 億円 1,109 979 922 <b>770</b>

資料：総面積… 全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）（令和6年10月1日）  
 海岸線延長… 海岸統計（国土交通省）（令和5年3月31日）  
 年平均気温… 社会生活統計指標2024（総務省統計局）  
 離島面積… 2022離島統計年報（日本離島センター）  
 温泉源泉数… 都道府県別温泉利用状況（環境省）（令和6年3月31日）  
 肉用牛飼養頭数… 畜産統計（令和6年2月1日現在）（農林水産省）（令和6年7月9日）  
 豚飼養頭数… 畜産統計（令和6年2月1日現在）（農林水産省）（令和6年7月9日）  
 ブロイラー飼養羽数… 畜産統計（令和6年2月1日現在）（農林水産省）（令和6年7月9日）  
 竹林面積… 森林・林業統計要覧2024（林野庁）  
 農業産出額… 生産農業所得統計（農林水産省）（令和5年12月22日）  
 海面漁業・養殖業産出額… 令和4年農林水産省「漁業産出額」（令和6年3月19日）



### 3 人口の動向

#### (1) 本県の人口の推移

昭和30年に204万人を超えた本県人口は、高度成長期を通じて減少を続け、昭和47年には、170万人まで落ち込んだ。その後増加に転じ、昭和60年には182万人まで回復したが、翌年には再びマイナスに転じ、その後は減少傾向が続いている。

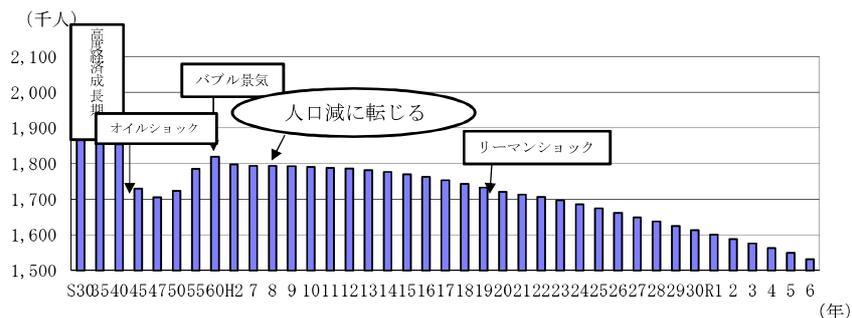
人口減少の要因は、少子高齢化の進展による自然減の進行、若年層の就職・進学による県外への転出がその主なものとなっている。

(単位：人、%)

区分 年	総人口	自然動態			社会動態 ほか	純増減	対前年 伸び率	指数 昭30年=100
		出生	死亡	増減				
30	2,044,112	49,861	16,892	32,969	△ 11,487	21,482	1.10	100.0
35	1,963,104	36,607	15,984	20,623	△ 44,682	△ 24,059	△ 1.20	96.0
40	1,853,541	28,022	15,727	12,295	△ 34,939	△ 22,644	△ 1.20	90.7
45	1,729,150	24,180	16,060	8,120	△ 41,263	△ 33,143	△ 1.88	84.6
47	1,705,008	24,229	14,819	9,410	△ 14,074	△ 4,664	△ 0.27	83.4
50	1,723,902	24,390	15,153	9,237	460	9,697	0.57	84.3
55	1,784,623	24,852	15,537	9,315	1,918	11,233	0.63	87.3
60	1,819,270	23,393	14,996	8,397	△ 2,282	6,115	0.34	89.0
2	1,797,824	19,189	15,834	3,355	△ 11,415	△ 8,060	△ 0.45	88.0
7	1,794,224	17,246	17,238	8	2,775	2,783	0.16	87.8
8	1,793,705	16,591	16,565	26	△ 545	△ 519	△ 0.03	87.7
9	1,793,010	16,710	16,468	242	△ 937	△ 695	△ 0.04	87.7
10	1,790,360	16,402	16,639	△ 237	△ 2,413	△ 2,650	△ 0.15	87.6
11	1,787,421	15,782	17,963	△ 2,181	△ 758	△ 2,939	△ 0.16	87.4
12	1,786,194	16,073	17,087	△ 1,014	△ 213	△ 1,227	△ 0.07	87.4
13	1,781,393	15,930	17,245	△ 1,315	△ 3,486	△ 4,801	△ 0.27	87.1
14	1,775,833	16,045	17,360	△ 1,315	△ 4,245	△ 5,560	△ 0.31	86.9
15	1,769,652	15,550	18,071	△ 2,521	△ 3,660	△ 6,181	△ 0.35	86.6
16	1,762,461	15,136	18,006	△ 2,870	△ 4,321	△ 7,191	△ 0.41	86.2
17	1,753,179	15,049	18,791	△ 3,742	△ 5,540	△ 9,282	△ 0.53	85.8
18	1,743,484	14,971	18,886	△ 3,915	△ 5,780	△ 9,695	△ 0.55	85.3
19	1,732,568	15,089	19,265	△ 4,176	△ 6,740	△ 10,916	△ 0.63	84.8
20	1,721,227	15,400	19,845	△ 4,445	△ 6,896	△ 11,341	△ 0.65	84.2
21	1,712,950	15,099	19,710	△ 4,611	△ 3,666	△ 8,277	△ 0.48	83.8
22	1,706,242	15,218	19,789	△ 4,571	△ 2,137	△ 6,708	△ 0.39	83.5
23	1,696,815	15,285	21,256	△ 5,971	△ 3,456	△ 9,427	△ 0.55	83.0
24	1,685,820	14,954	20,911	△ 5,957	△ 5,038	△ 10,995	△ 0.65	82.5
25	1,674,781	14,837	21,185	△ 6,348	△ 4,691	△ 11,039	△ 0.65	81.9
26	1,661,725	14,219	21,560	△ 7,341	△ 5,715	△ 13,056	△ 0.78	81.3
27	1,648,177	14,312	21,640	△ 7,328	△ 6,220	△ 13,548	△ 0.82	80.6
28	1,637,040	13,847	21,322	△ 7,475	△ 3,662	△ 11,137	△ 0.68	80.1
29	1,624,970	13,336	21,661	△ 8,325	△ 3,745	△ 12,070	△ 0.74	79.5
30	1,613,273	13,091	21,968	△ 8,877	△ 2,820	△ 11,697	△ 0.72	78.9
1	1,600,783	12,295	21,639	△ 9,344	△ 3,146	△ 12,490	△ 0.77	78.3
2	1,588,256	11,627	21,217	△ 9,590	△ 2,937	△ 12,527	△ 0.78	77.7
3	1,576,488	11,634	21,874	△ 10,240	△ 1,528	△ 11,768	△ 0.74	77.1
4	1,563,124	10,839	23,385	△ 12,546	△ 818	△ 13,364	△ 0.85	76.5
5	1,548,684	10,216	23,964	△ 13,748	△ 692	△ 14,440	△ 0.92	75.8
6	1,531,712	9,206	24,237	△ 15,031	△ 1,941	△ 16,972	△ 1.10	74.9

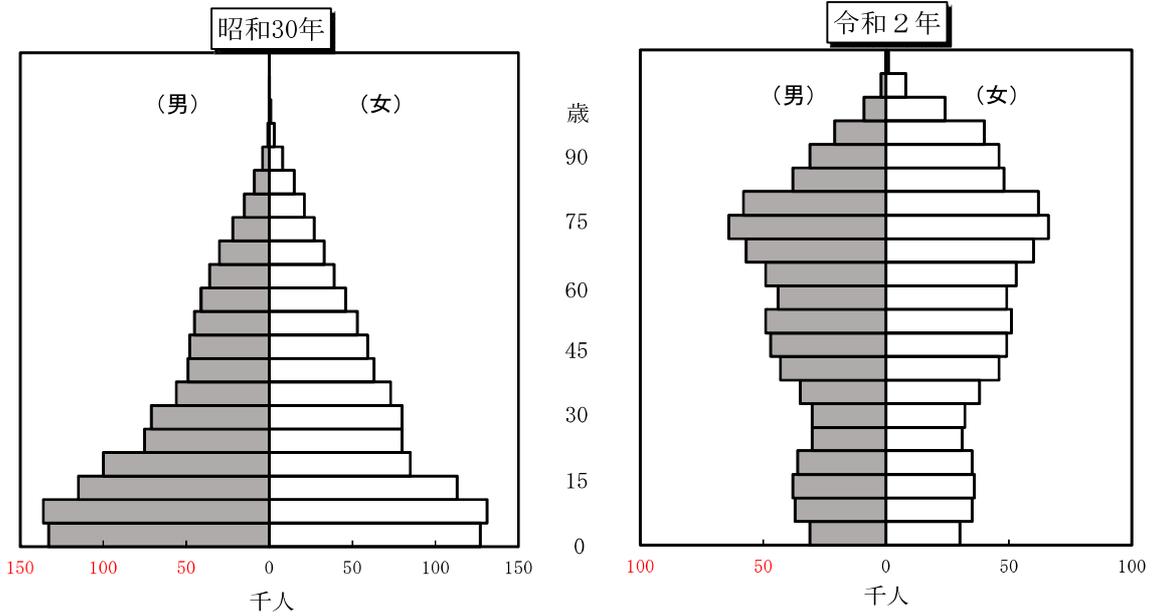
資料：総人口は、毎年10月1日現在で、昭和30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 平成2, 7, 12, 17, 22, 27, 令和2年は国勢調査確報結果による。また、中間年のうち、昭和47年及び平成8年以降は県毎月推計人口による。

- (注) 1 「自然動態」は前年10月1日から当該年9月30日までの合計値。ただし、平成7年以前は日本人のみの数値。  
2 「社会動態ほか」は、「純増減」から「自然動態」を差し引いたもので、「社会動態」のほか「補正人口」及び平成7年以前は「外国人の自然動態・社会動態」も含まれている。



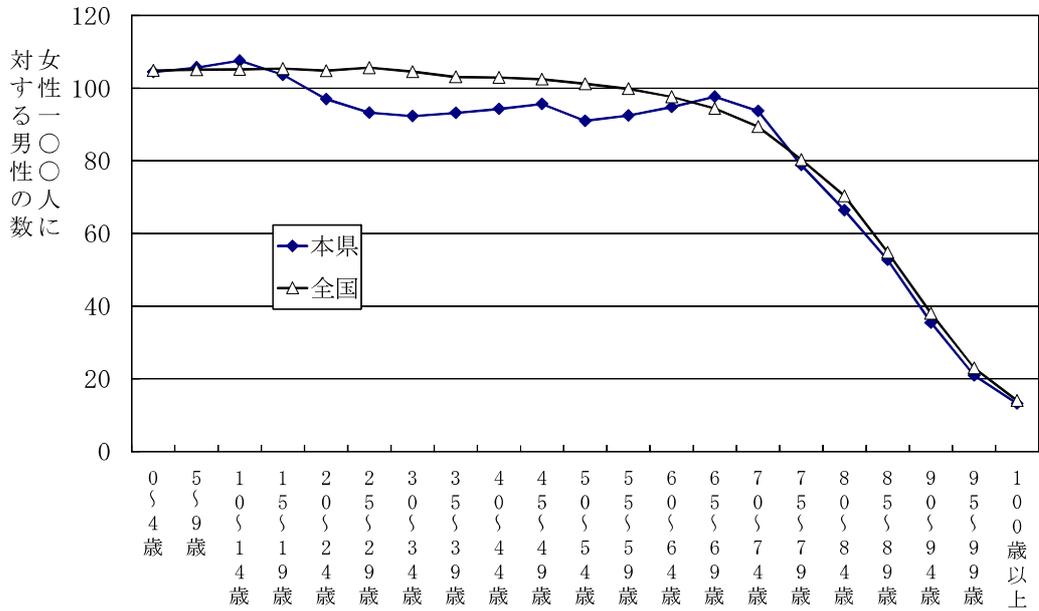
(2) 年齢（5歳階級）別・男女別の人口

① 年齢（5歳階級）別・男女別の人口の推移



資料：総務省「国勢調査」（令和2年は不詳補完値による。）

② 年齢（5歳階級）別人口性比（令和2年）



資料：総務省「国勢調査」（不詳補完値による。）

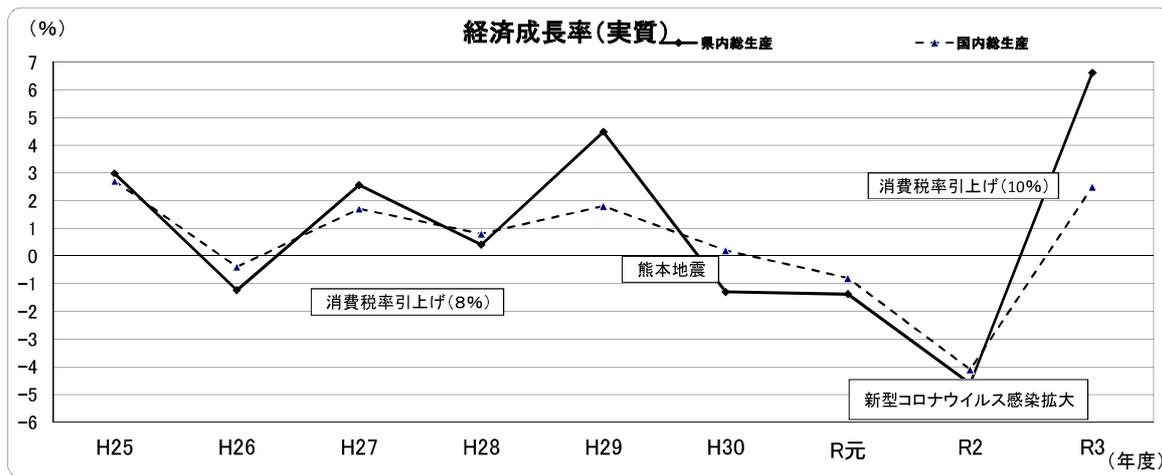
## 4 経済の動向

### (1) 経済成長率と所得の対全国比

令和3年度の本県経済は、実質では4年ぶりのプラス成長(6.6%)となった。

また、一人当たりの県民所得は2,605千円となり、一人当たり所得の対全国比は前年度と比較して差が縮小し、82.6%となった。

#### ① 本県(国)の実質経済成長率の推移〔県(国)内総生産対前年度比〕



経済成長率(実質) (単位:%)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
県内総生産	3.0	△ 1.2	2.6	0.4	4.5	△ 1.3	△ 1.4	△ 4.6	6.6
国内総生産	2.7	-0.4	1.7	0.8	1.8	0.2	△ 0.8	△ 4.1	2.5

資料：内閣府(国数値) (県数値)  
 [ 令和3年度 国民経済計算年次推計 ] [ 県民経済計算年報(令和3年度版) ]

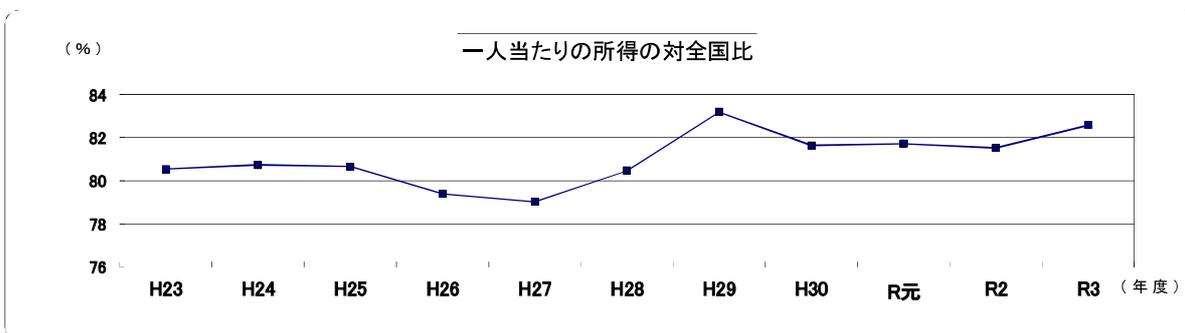
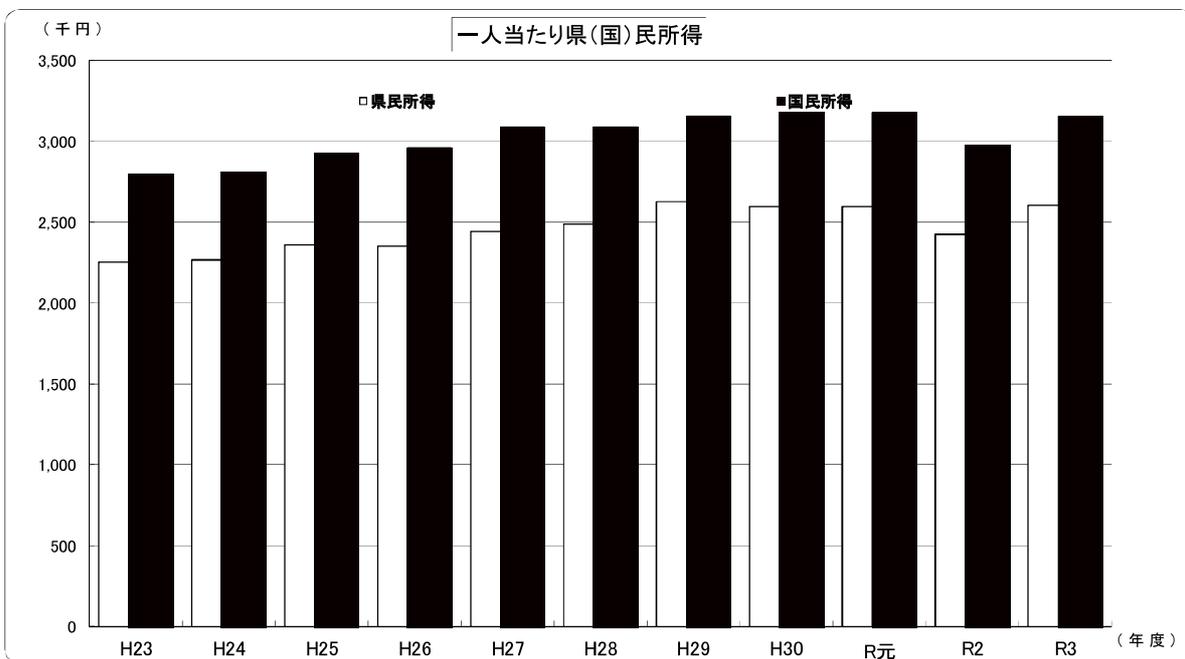
(注) 1 2008 SNAによる推計値

※ 「SNA (System of National Accounts)」：国際連合において勧告された国民経済計算の国際的標準体系

2 国内総生産及び県内総生産の実質値は、連鎖方式による。

② 一人当たり県（国）民所得の推移

令和3年度	一人当たり県民所得	2,605千円	対前年度増加率	7.4%
	(参考 一人当たり国民所得)	3,155千円	対前年度増加率	6.0%



一人当たり所得

(単位：千円, %)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
県民所得	2,254	2,267	2,359	2,351	2,441	2,486	2,626	2,597	2,596	2,425	2,605
国民所得	2,798	2,808	2,925	2,961	3,089	3,089	3,157	3,181	3,177	2,975	3,155
対全国比	80.5	80.7	80.7	79.4	79.0	80.5	83.2	81.6	81.7	81.5	82.6

資料：内閣府（国数値）

令和3年度 国民経済計算年次推計

（県数値）

県民経済計算年報（令和3年度版）

（注） 2008 SNAによる推計値

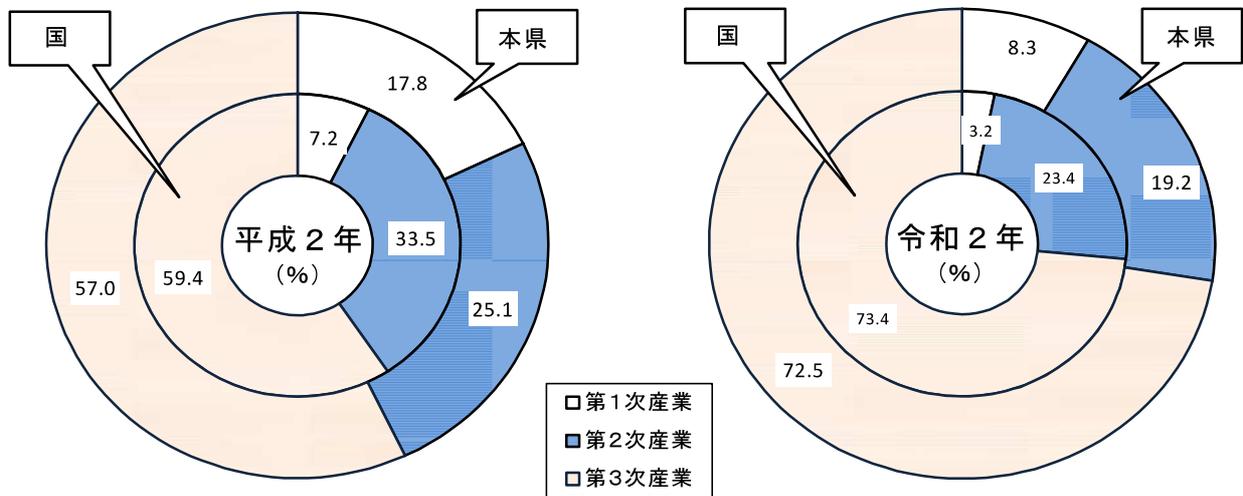
※ 「SNA（System of National Accounts）」：国際連合において勧告された国民経済計算の国際的標準体系

(2) 産業構造

① 産業別就業者構成

産業	産業別就業者数 (人)						
	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2
第1次産業	146,277	125,331	99,323	94,858	77,967	71,771	63,892
農業、林業	134,178	114,730	91,032	88,134	72,086	66,555	59,184
漁業	12,099	10,601	8,291	6,724	5,881	5,216	4,708
第2次産業	205,890	208,381	200,548	171,134	146,393	150,868	147,554
製造業	119,566	108,754	105,355	91,169	82,267	84,676	83,039
建設業	85,128	98,291	93,899	79,302	63,467	65,654	63,970
第3次産業	467,366	508,321	526,217	542,490	522,291	556,346	557,537
医療・福祉	—	—	—	100,511	111,597	134,364	143,756
卸売・小売業	166,620	176,852	177,210	141,979	129,557	125,925	118,950
総数	820,576	843,625	828,957	812,594	776,993	778,985	768,983

産業	構成比 (%)													
	本県							国						
	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2
第1次産業	17.8	14.9	12	11.7	10.4	9.2	8.3	7.2	6.0	5.2	4.9	4.2	3.7	3.2
農業、林業	16.4	13.6	11	10.8	9.3	8.5	7.7	6.6	5.5	4.7	4.5	3.7	3.4	3.0
漁業	1.5	1.3	1	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2
第2次産業	25.1	24.7	24.3	21.2	19.6	19.4	19.2	33.5	31.3	29.5	26.4	25.2	24.6	23.4
製造業	14.6	12.9	12.7	11.2	10.6	10.9	10.8	23.7	20.5	19.0	17.0	16.1	16.9	15.9
建設業	10.4	11.7	11.3	9.8	8.2	8.4	8.3	9.5	10.5	10.1	8.8	7.5	7.7	7.4
第3次産業	57	60.4	63.7	67.1	70.0	71.4	72.5	59.4	62.7	65.3	68.6	70.6	71.7	73.4
医療・福祉	—	—	—	12.4	14.4	17.2	18.7	—	—	6.8	8.7	10.3	12.4	13.5
卸売・小売業	20.3	21.0	21.4	17.5	16.7	16.2	15.5	22.4	18.6	18.1	17.5	16.4	16.1	15.8
総数	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100



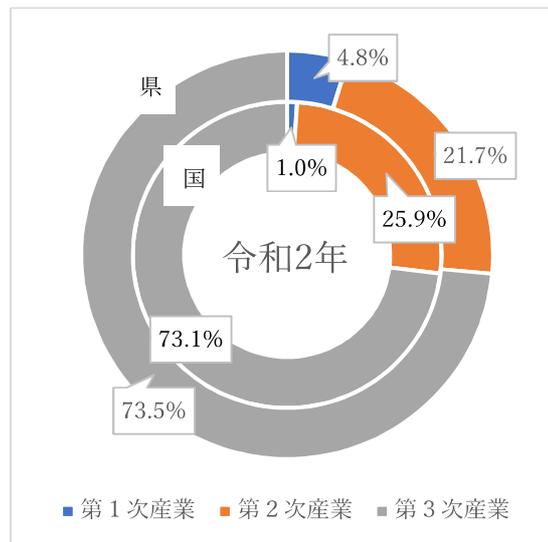
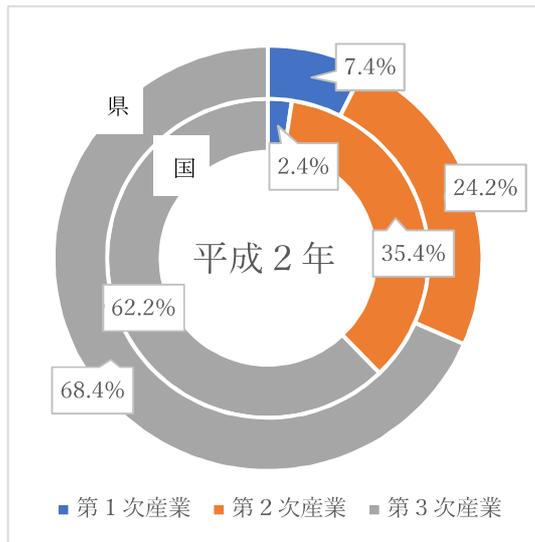
資料：総務省「国勢調査」

- (注) 1 総数には、分類不能の産業(就業者の産業が不明な場合の産業分類)を含む。  
 2 日本標準産業分類の改訂により、平成12年以前の計数と平成17年以降の計数は単純比較ができない。なお、医療・福祉は、平成12年以前は産業大分類に分類されておらず結果が無いため、掲載していない。(国の平成12年の結果については、改訂後の産業分類に組み替えて集計している。)

② 産業別県（国）内総生産の構成

産業	区分	本県名目値（億円）						
		平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2
第1次産業		3,405	2,951	2,600	2,056	2,242	2,450	2,660
	農業	2,648	2,403	2,001	1,761	1,683	1,809	2,112
第2次産業		11,087	11,826	13,201	10,779	10,017	11,327	12,024
	製造業	5,555	6,237	8,148	7,084	6,700	7,037	6,418
	建設業	5,347	5,404	4,909	3,539	3,132	4,074	5,337
第3次産業		31,322	37,513	42,215	42,660	38,613	41,446	40,763
	卸売・小売	5,908	6,382	6,306	6,454	5,718	7,247	6,786
	サービス業	7,720	9,505	12,274	10,936	-	-	-
	政府サービス	5,367	6,481	7,317	7,667	-	-	-
	宿泊・飲食	-	-	-	-	1,515	1,492	905
	保健・社会	-	-	-	-	5,548	7,003	7,508
	小計	45,814	52,290	58,016	55,495	50,872	55,223	55,447
	関税等	△ 1,842	△ 1,832	△ 1,971	282	254	443	371
	県内総生産	44,472	50,458	56,045	55,777	51,126	55,666	55,818

産業	区分	構成比（％）													
		本県							国						
		平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2	平2	平7	平12	平17	平22	平27	令2
第1次産業		7.4	5.6	4.5	3.7	4.4	4.4	4.8	2.4	1.7	1.5	1.1	1.1	1.0	1.0
	農業	5.8	4.6	3.4	3.2	3.3	3.3	3.8	1.8	1.4	1.3	0.9	0.9	0.8	0.9
第2次産業		24.2	22.6	22.8	19.4	19.7	20.5	21.7	35.4	31.5	29.2	26.8	25.5	25.9	25.9
	製造業	12.1	11.9	14.0	12.8	13.2	12.7	11.6	25.7	23.7	22.4	21.3	20.8	20.6	20.1
	建設業	11.7	10.3	8.5	6.4	6.2	7.4	9.6	9.5	7.7	6.7	5.4	4.6	5.2	5.7
第3次産業		68.4	71.7	72.8	76.9	75.9	75.1	73.5	62.2	66.9	69.3	72.1	73.4	73.1	73.1
	卸売・小売	12.9	12.2	10.9	11.6	11.2	13.1	12.2	12.8	13.9	13.0	14.1	13.4	13.1	12.8
	サービス業	16.9	18.2	21.2	19.7	-	-	-	15.5	-	-	-	-	-	-
	政府サービス	11.7	12.4	12.6	13.8	-	-	-	7.5	-	-	-	-	-	-
	宿泊・飲食	-	-	-	-	3.0	2.7	1.6	-	3.1	3.1	2.7	2.6	2.4	1.7
	保健・社会	-	-	-	-	10.9	12.7	13.5	-	4.2	5.1	5.7	6.7	7.5	8.2
	小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



資料：内閣府（国数値）  
 H2 「国民経済計算年報（H23年版）」  
 H6～ 「令和3年度国民経済計算年次推計」

（県数値）  
 H2～7 「県民経済計算年報（平成15年度版）」  
 H12 「県民経済計算年報（平成21年度版）」  
 H17 「県民経済計算年報（平成26年度版）」  
 H22 「県民経済計算年報（平成30年度版）」  
 H27～ 「県民経済計算年報（令和3年度版）」

- (注) 1 県は年度値であり、国は暦年値である。  
 2 四捨五入の結果、計は必ずしも一致しない。  
 3 県内総生産の名目値は、各産業の合計から輸入品に課される税・関税等を加算、控除後の計数であるが、構成比については、輸入品に課される税・関税等を加算、控除前の県（国）内総生産を100%として算出  
 4 国の平成2年と県の平成2年度から平成17年度までの数値は1993 SNAによる推計値。国の平成6年以降と県の平成22年度以降の数値は2008 SNAによる推計値

## 5 主要指標等

### (1) 主要指標（全国からみた鹿児島県）

項 目	単 位	全 国	本 県	順 位	備 考
《 自然環境 》					
年平均気温	℃	—	19.3	2	2022年
年間降水量	mm	—	2,416	5	2022年
総面積	km <sup>2</sup>	377,975	9,186	10	R6. 10. 1
離島面積（注）	km <sup>2</sup>	7,628	2,483	1	2022離島統計年報
離島数（注）	島	307	28	4	2022離島統計年報
海岸線延長	km	35,268	2,643	3	R5年度
温泉源泉数	本	27,920	2,735	2	R6. 3. 31
《 人口・世帯 》					
総人口	千人	126,146	1,588	24	R2年国調
一般世帯の1世帯当たり人員	人	2.21	2.11	44	R2年国調
人口性比(女100人に対する男の数)	%	94.7	89.1	45	R2年国調
自然増減率	%	△0.38	△0.59	—	30.10～R1.9
社会増減率	%	0.17	△0.15	—	30.10～R1.9
人口密度	人/km <sup>2</sup>	338.2	172.9	36	R2年国調
年少人口割合（15歳未満）	%	11.9	13.1	6	R2年国調
生産年齢人口割合（15歳以上～65歳未満）	%	59.5	54.4	42	R2年国調
高齢人口割合（65歳以上）	%	28.6	32.5	16	R2年国調
出生率	人口千対	6.0	6.4	8	R5年人口動態
死亡率	人口千対	13.0	15.8	11	R5年人口動態
離婚率	人口千対	3.9	3.3	31	R5年人口動態
結婚率	人口千対	1.52	1.63	7	R5年人口動態
《 経済基盤 》					
県（国）内総生産（名目）	億円	5,375,615	56,103	—	R2年度
構成第1次産業	%	1.0	4.7	—	国R2暦年, 県R2年度
構成第2次産業	%	25.9	21.6	—	国R2暦年, 県R2年度
構成第3次産業	%	73.1	73.7	—	国R2暦年, 県R2年度
実質経済成長率	%	△4.1	△4.2	—	R2年度
(農 業)					
農業経営体数	経営体	1,075,580	29,717	12	R2. 2. 1
個人経営体数	経営体	1,037,231	28,276	12	R2. 2. 1
基幹的農業従事者数	人	1,362,914	37,580	16	R2. 2. 1
耕地面積	ha	4,272,000	110,400	12	R6. 7. 15
農業産出額	億円	95,579	5,438	2	R5年(暦年)
肉用牛飼養頭数	千頭	2,672	363	2	R6. 2. 1
豚飼養頭数	千頭	8,798	1,200	1	R6. 2. 1
ブロイラー飼養羽数	千羽	144,859	32,003	1	R6. 2. 1
採卵鶏飼養羽数	千羽	168,599	10,196	3	R6. 2. 1
(林 業)					
林業就業者数	人	—	1,401	—	R5年度
森林面積	千ha	25,025	594	11	森林・林業統計要覧2024
竹林面積	千ha	175	20	1	森林・林業統計要覧2024
林業産出額	億円	5,807	114	14	森林・林業統計要覧2024
製材品等生産額	億円	—	196	—	R5年度
(漁 業)					
漁業経営体総数(海面・養殖)	経営体	65,662	2,554	7	R5センサス
漁船総隻数	隻	201,694	7,850	7	R5. 12. 31
漁港数	港	2,774	139	5	R6. 4. 1
海面漁業・養殖業産出額	億円	14,347	770	5	R4年(暦年)

(注) 離島面積及び離島数は、離島関係特別法が適用される有人の離島面積及び離島数である。  
令和2年国勢調査結果における年齢別人口割合は、不詳補完値による。

項 目	単 位	全 国	本 県	順 位	備 考
《商 工 業》					
小 売 業 年 間 商 品 販 売 額	億 円	1,381,804	15,292	25	R2年(暦年)
卸 売 業 年 間 商 品 販 売 額	億 円	4,016,335	23,744	25	R2年(暦年)
製 造 品 出 荷 額 等	億 円	3,617,749	24,147	36	R4年(暦年)
《観 光》					
延 べ 宿 泊 者 数	千 人 泊	543,236	7,962	22	R1年(暦年)(速報値)
外 国 人 延 べ 宿 泊 者 数	千 人 泊	101,435	791	19	R1年(暦年)(速報値)
観 光 消 費 額	億 円	—	3,016	—	30年(暦年)
《財 政》					
(県)					
歳 出 決 算 額	億 円	566,473	8,561	—	R5年度
財 政 力 指 数	指 数	0.49126	0.34012	40	R5年度
経 常 収 支 比 率	%	92.5	96.7	39	R5年度
将 来 負 担 比 率	%	148.7	196.2	34	R5年度
実 質 公 債 費 比 率	%	10.1	11.4	29	R5年度
(市町村計)					
歳 出 決 算 額	億 円	668,552	10,640	—	R5年度
財 政 力 指 数	指 数	0.48	0.28	—	R5年度
経 常 収 支 比 率	%	93.1	90.7	—	R5年度
《学 校 教 育》					
大 学 等 進 学 率	%	61.9	48.2	45	R6年度 (6年3月卒業者)
《レ ジ ャ ー》					
旅 館 ・ ホ テ ル 数	軒	51,038	842	24	R6.3.31
ゴ ル フ 場 数	か 所	2,187	28	28	R5年度
ゴ ル フ 場 利 用 者 数	千 人	89,683	1,130	29	R5年度
《労 働 者 割 合》					
就 業 第 1 次 産 業 率	%	3.2	8.3	9	R2年国調
第 2 次 産 業 率	%	23.4	19.2	42	R2年国調
第 3 次 産 業 率	%	73.4	72.5	15	R2年国調
完 全 失 業 率	%	2.6	2.2	22	R5年平均
有 効 求 人 倍 率	倍	1.29	1.20	—	R5年度
《居 住 環 境》					
持 家 比 率	%	60.8	63.3	35	R5年住宅土地統計
汚 水 処 理 人 口 普 及 率	%	93.3	85.7	35	R6.3.31
水 道 普 及 率	%	98.3	97.7	28	R5.3.31
自 然 公 園 面 積 (対 県 土 面 積)	%	15.2	13.9	27	R6.8.8
超 高 速 ブ ロ ー ド バ ン ド の 利 用 可 能 世 帯 率	%	99.84	99.32	40	R5.3.31
《健 康 ・ 医 療》					
病 院 数	人 口 10万 対	6.5	14.8	3	R5.10.1
病 床 数 (病 院)	人 口 10万 対	1,191.1	2,019.8	2	R5.10.1
医 師 数	人 口 10万 対	274.7	298.7	17	R4.12.31
平 均 寿 命 (男)	年	81.49	80.95	38	R2年(暦年)
” (女)	年	87.60	87.53	26	R2年(暦年)

## (2) 鹿児島県のポテンシャル

本県は、魅力ある観光資源や多様な「日本一」、安心・安全で豊富な「食」、豊かな自然環境など、多くの魅力や強み(ポテンシャル)を有しています。ここでは、その一部についてご紹介します。

### 魅力ある観光資源

本県には、南北600キロメートルに及ぶ広大な県土の中に、美しい自然環境が織りなす四季折々の景観、特色ある島々、奥深い歴史を感じさせる名所、良質で豊かな温泉など、魅力ある観光資源が豊富にあります。

また、世界的に価値認められた資源も豊富であり、国内で最多の3つの世界遺産(世界自然遺産:「屋久島」,「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」,世界文化遺産:「明治日本の産業革命遺産」)を有しています。

### 【世界に誇る鹿児島島の遺産群】

(屋久島)

屋久島は、自然美(樹齢1000年を超えるヤクスギの原生林が優れた景観を有していること)と、生態系(亜熱帯性の植物から冷温帯性の植物まで連続的に変化する植生が見られること)が高く評価され、1993年12月、我が国で初めて世界自然遺産に登録されました。

(明治日本の産業革命遺産)

本県の①旧集成館(旧集成館機械工場、反射炉跡、旧鹿児島紡績所技師館)、②寺山炭窯跡、③関吉の疎水溝の3つの資産は、幕末から明治期の重工業(製鉄・製鋼、造船、石炭産業)における急速な産業化の道程を証言する産業遺産群の構成資産であり、これらは、8県11市にわたる23の資産で構成される世界文化遺産として、2015年7月に登録されました。2025年は、登録から10周年の節目を迎えます。

(奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島)

奄美大島及び徳之島は、国内最大級の亜熱帯照葉樹林に、アマミノクロウサギに代表される国際的にも希少な固有種が多く生息・生育する生物多様性保全上重要な地域であることなどが評価され、沖縄県の2つの地域とともに、2021年7月に世界自然遺産に登録されました。



縄文杉

### 多様な「日本一」を誇る鹿児島

本県は、恵まれた自然環境などを生かし、「肉用牛(黒毛和種)」や「豚」といった畜産物、「さつまいも」や「茶」などの農産物、養殖の「ブリ」・「カンパチ」・「ウナギ」の生産量が日本一であるなど、安心・安全でおいしい食物の宝庫です。

また、ツルの渡来数、ウミガメの上陸確認数、国内唯一のロケット打上げ施設の立地など、多様な「日本一」が存在しています。

#### 家畜飼養頭羽数等

肉用牛(黒毛和種)飼養頭数、豚飼養頭数、ブロイラー飼養羽数、第12回全国和牛能力共進会で「和牛日本一」

#### 農産物生産量

さつまいも、茶、さやえんどう、オクラ、スナップえんどう、なつみかん、たんかん、パッションフルーツ

#### 水産物生産量

養殖ブリ、養殖カンパチ、養殖ウナギ、かつお節

#### 林産物生産量等

竹材、しきみ、港別丸太輸出量(志布志港)

#### その他

離島面積・人口、ツルの渡来数、ウミガメの上陸確認数、桜島大根(世界一大きい)、屋久島の縄文杉、蒲生の大楠、沖永良部のガジュマル、指宿の大ウナギ、金産出量、ロケット打上げ施設 等



肉用牛(黒毛和種)  
第12回全国和牛能力共進会第4区1席  
内閣総理大臣賞

### 成長著しいアジアに近接した地理的優位性

本県は、我が国本土の最南端に位置し、世界の経済成長の6割を占めるアジアに近接しています。

こうした地理的優位性を生かした交通・物流ネットワークも構築されており、ソウル、上海、台北、香港といった各主要都市と定期航空路線で結ばれているとともに、鹿児島港、川内港、志布志港の3つのC I Q機能を有する国際物流港湾があり、中国、台湾、韓国への国際定期コンテナ航路が開設されています。

さらに、香港、シンガポール、韓国全羅北道、中国江蘇省など、アジア地域を中心とした海外との長年にわたる幅広い分野での交流実績を有しています。

## 南北600キロメートルに広がる豊かな自然

本県は、紺碧の錦江湾に浮かび今も火山活動が続いている桜島、変化に富んだ長い海岸線、源泉数全国第2位を誇る豊富な温泉、温暖な気候と海の恵みをもたらしている黒潮など、豊かな自然環境に恵まれています。

また、日本で初めて国立公園に指定された霧島、日本で初めて世界自然遺産に登録された屋久島、アミノクロウサギなど世界的にも貴重な動植物を有し、世界自然遺産に登録された奄美大島、徳之島など、世界でここにしかない自然環境が豊富です。

このような豊かな自然環境は、農林水産業の優れた生産基盤をなしており、黒豚、黒毛和牛、黒糖、黒酢、お茶、焼酎などの豊富な食品や、健康・長寿につながる豊かな食文化を育み、魅力あふれる観光資源にもなっています。

## 個性ある歴史と多彩な文化

本県は、縄文時代の上野原遺跡などが示すように、早くから人々が定住生活を営んでおり、また、黒潮に育まれた南方との様々な交流による文化やアジアの国々との長い交流の歴史があります。

16世紀には、種子島への鉄砲伝来、フランシスコ・ザビエルによるキリスト教の布教など、遠くヨーロッパの文化に触れ、19世紀には、積極的に西洋文化を取り入れることに情熱を注ぎ、反射炉や各種工場の建設や英国への留学生派遣などを行いました。

また、日本が初めて公式に参加することになった第2回パリ万国博覧会に、幕府とは別のパビリオンで参加し、薩摩焼など郷土の特産品を出品するとともに、「薩摩琉球国勲章」を各国高官に贈るなど、薩摩を諸外国に強くアピールしました。

こうした先進的な取組を通じ、鹿児島は、当時の日本をリードする大きな力を持つようになり、新しい国家を樹立する原動力となりました。

また、本県は、いわゆる大和文化圏と琉球文化圏との接点であったことも影響し、民俗の宝庫と言われるほど個性豊かな祭礼行事や民俗芸能が存在し、各地で多様な生活文化が育まれています。

さらに、大島紬、川辺仏壇、薩摩焼や薩摩切子等の工芸技術など特色ある伝統文化や、世界文化遺産の構成資産である「旧集成館」など、我が国の近代化の魁となった産業遺産も多く存在しています。



川辺仏壇

## 南の風土に培われた資質に富んだ人材

本県は、西郷隆盛や大久保利通といった近代国家・日本の形成に大きく寄与した先人達を数多く輩出しました。

今なお、このような幕末の混乱期に未来を切り拓いた若者を育てた教育的風土や、地域全体で子どもたちを育てるといった伝統的な地域の教育力は継承されています。

また、産業・経済・学術など様々な分野でも多くの優秀な人材を輩出しています。

南に開かれた地理的環境や世界と接する中で培われた明朗かつ達で進取の気性に富んだ県民性、南国特有の開放的で明るい気質は、国内外での交流を拡大する上で有利な点となっています。

## 優しく温もりのある地域社会

本県は、子どもや高齢者を対象としたボランティア活動を行う人の割合が全国の中でも上位であるなど、地域で支え合う仕組みが残っていると同時に、地域づくりなど社会的な課題に市民が自発的・自立的に取り組むNPO法人数は、人口当たり全国上位と高い水準にあります。

このような中で、地域コミュニティやNPO、企業、学校などの多様な主体が県内各地域において、子育て世代の交流の場の提供や育児相談、放課後児童クラブの運営、都市・農村間の交流による過疎・高齢化地域の再生、河川・道路等の美化活動、障害者の自立支援など、様々な地域課題の解決に向けた取組を進めています。

## 地域資源等を活用した個性ある産業

本県は、全国有数の第一次産業県であり、良質で豊富な県産農林水産物を活用した特定保健用食品（トクホ）や機能性表示食品、特産品といった各種の加工食品の開発・商品化など、地域資源を生かした新たな産業が創出されています。また、離島や中山間地域における独自性の高い地域資源を活用した旅行商品の造成も行われています。

さらに、シラスを活用した新素材の開発・実用化、大島紬の生産工程における泥染め技術を活用した独特の風合いや光沢のある新商品デザインの開発など、様々な分野において本県企業の特許オンリーワンの技術を生かした研究開発や事業化が進行しています。

## 6 鹿児島県の財政（令和7年度当初予算（一般会計））

ア 歳入 (単位：百万円，%)

款 別	令和7年度		令和6年度	比較
	当 初 (A)	構成比	当 初 (B)	(A)/(B)
1 県 税	168,410	19.7	158,637	106.2
2 地方消費税清算金	81,670	9.6	78,137	104.5
3 地方譲与税	35,700	4.2	32,577	109.6
4 地方特例交付金	966	0.1	4,057	23.8
5 地方交付税	284,364	33.3	280,108	101.5
6 交通安全対策特別交付金	417	0.0	437	95.4
7 分担金及び負担金	5,098	0.6	5,072	100.5
8 使用料及び手数料	10,742	1.3	10,725	100.2
9 国庫支出金	152,341	17.9	152,419	99.9
10 財産収入	1,942	0.2	5,678	34.2
11 寄附金	19	0.0	18	108.5
12 繰入金	33,752	4.0	35,280	95.7
13 繰越金	2,000	0.2	2,000	100.0
14 諸収入	10,230	1.2	10,444	97.9
15 県債	65,084	7.6	64,923	100.2
合 計	852,734	100.0	840,510	101.5

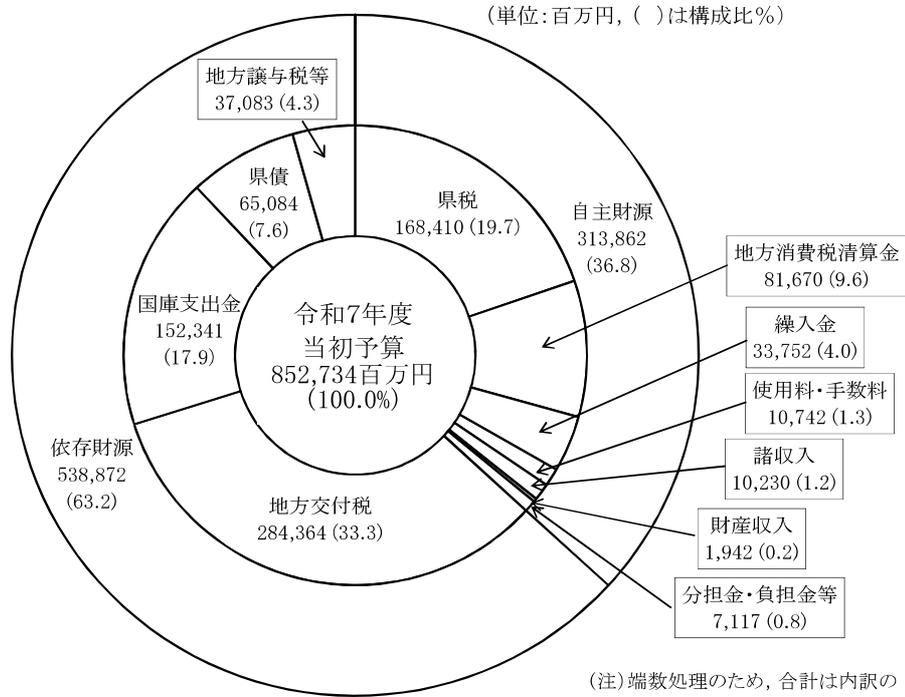
(注) 表示単位未満四捨五入の関係で各款の計と合計が一致しない場合がある。以下の表同じ。

イ 歳出（目的別） (単位：百万円，%)

款 別	令和7年度		令和6年度	比較
	当 初 (A)	構成比	当 初 (B)	(A)/(B)
1 議会費	1,493	0.2	1,378	108.3
2 総務費	45,407	5.3	44,414	102.2
3 民生費	125,559	14.7	121,931	103.0
4 衛生費	63,540	7.5	65,001	97.8
5 労働費	2,386	0.3	2,189	109.0
6 農林水産業費	71,578	8.4	73,393	97.5
7 商工費	13,364	1.6	13,828	96.6
8 土木費	85,255	10.0	84,579	100.8
9 警察費	41,048	4.8	38,185	107.5
10 教育費	196,877	23.1	193,930	101.5
11 災害復旧費	16,156	1.9	12,728	126.9
12 公債費	105,524	12.4	107,985	97.7
13 諸支出金	84,347	9.9	80,770	104.4
14 予備費	200	0.0	200	100.0
合 計	852,734	100.0	840,510	101.5

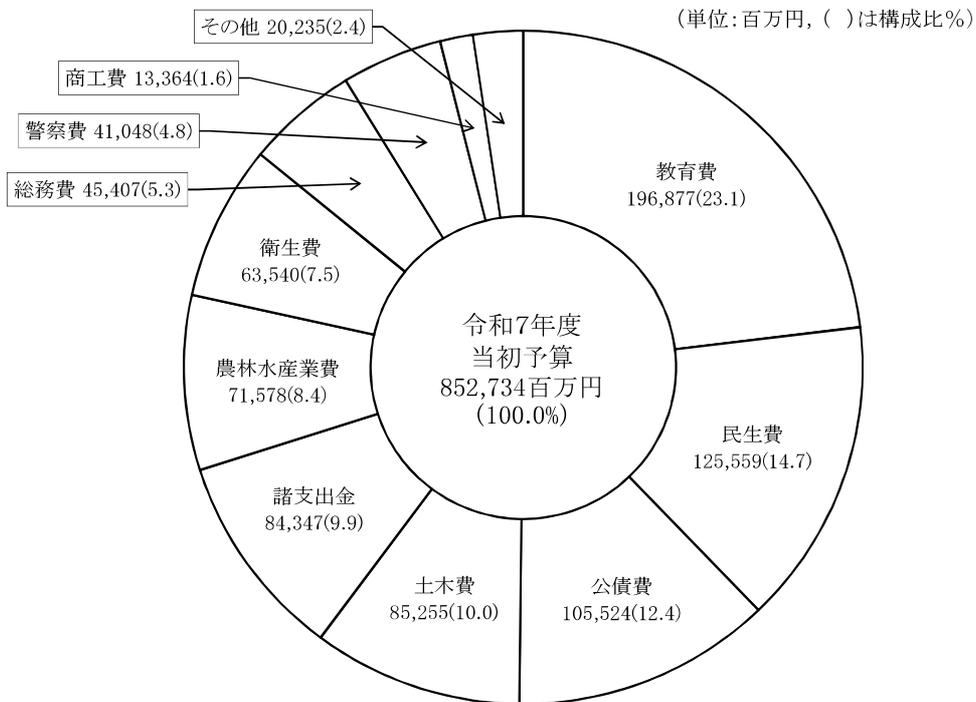
# 令和7年度当初予算（一般会計）の構成

## 歳入



(注)端数処理のため、合計は内訳の計と必ずしも一致しない。以下のグラフ同じ。

## 歳出



## 7 鹿児島県計画等の概要

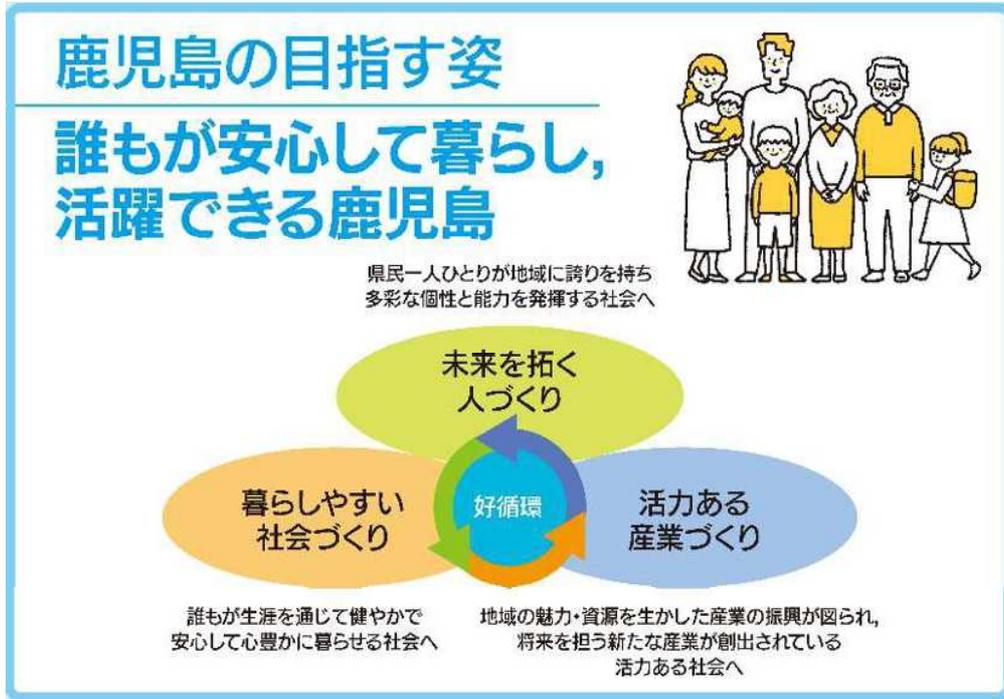
### (1) 県計画等の沿革

策定 年次	県 の 計 画 等	計 画 期 間	国 の 計 画 等
S 24	鹿児島県経済振興五ヶ年計画	S 24～28	S 30 経済自立5か年計画
S 35	鹿児島県経済振興計画	S 33～42	S 35 国民所得倍増計画
S 39	鹿児島県経済振興計画修正計画	S 37～42	S 37 全国総合開発計画
S 43	20年後の鹿児島	S 40～60	
S 44	第1次県勢発展計画	S 44～48	S 44 新全国総合開発計画
S 47	第2次県勢発展計画	S 46～50	S 52 第三次全国総合開発計画
S 51	県政推進3ヶ年計画	S 51～53	
S 53	鹿児島県総合計画	S 53～60	
S 59	2000年のかごしま	S 60～75	
S 60	鹿児島県新総合計画	S 60～69	S 62 第四次全国総合開発計画
H 2	鹿児島県総合基本計画	H 3～12	H10 21世紀の国土のランドデザイン
H13	21世紀新かごしま総合計画	H13～22	H20 国土形成計画（全国計画）
H20	かごしま将来ビジョン	H20～29	H26 国土のランドデザイン2050
H27	鹿児島県まち・ひと・しごと 創生総合戦略	H27～31	H26 まち・ひと・しごと創生総合戦略 H27 第2次国土形成計画（全国計画）
H30	かごしま未来創造ビジョン	H30～	
R 2	第2期鹿児島県まち・ひと・しごと 創生総合戦略	R 2～6	R 1 第2期「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」
R 4	かごしま未来創造ビジョン （改訂版）		
R 5	第2期鹿児島県まち・ひと・し ごと創生総合戦略（改訂版）	R 2～9	R 4 デジタル田園都市国家構想総合戦略 R 5 第3次国土形成計画（全国計画）

## (2) かがしま未来創造ビジョン（改訂版）

県では、新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル化の進展、SDGsの推進やカーボンニュートラルの実現など、昨今の社会経済情勢の変化を受け、おおむね10年後の鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを示す「かがしま未来創造ビジョン」を令和4年3月に改訂しました。

このビジョンで示す施策展開の基本方向に沿って、各般の施策を着実に進めていくこととし、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指し、「未来を拓く人づくり」、「暮らしやすい社会づくり」、「活力ある産業づくり」に取り組み、これらの好循環を生み出すことにより、時代の潮流にも的確に対応し、将来にわたって全ての県民が生き生きと活躍し、安心して心豊かに暮らし続けられる鹿児島の実現を図ります。



### 施策展開の基本方向（15の柱）

- 1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現
- 2 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現
- 3 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療・介護の確保
- 4 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興
- 5 脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生
- 6 安心・安全な県民生活の実現
- 7 快適な生活環境の向上と世界につながる県土の創造
- 8 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進
- 9 多様で魅力ある奄美・離島の振興
- 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- 11 観光の「稼ぐ力」の向上
- 12 企業の「稼ぐ力」の向上
- 13 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出
- 14 デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上
- 15 持続可能な行財政運営

(3) 第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)

地方創生に向けた取組の推進に当たっては、本県が有する世界に通用する素晴らしい地域資源「ポテンシャル」を最大限に生かすとともに、全ての人の人権やジェンダー平等の視点に配慮しながら、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を実現できるよう、デジタルの力も活用して、本県の基幹産業である農林水産業や観光関連産業の重点的な振興や、高い技術力を有する製造業の競争力の強化や将来を担う新たな産業の創出などの鹿児島県の「稼ぐ力」の向上、人材の確保・育成、移住・交流の促進など、経済成長や県勢の発展に資する施策を推進するとともに、子育て支援や高齢者活躍支援など、県民福祉の向上に向けた施策の充実を図り、3つの取組方針ごとに、具体的な施策を展開することとし、令和2年度から9年度までの8年間を対象期間として、令和5年12月に策定しました(当初戦略は令和2年3月に策定。対象期間は令和2年度から6年度までの5年間)。

なお、具体的な施策の展開に当たっては、地域の個性を生かしながら、デジタルの力も活用して、地方創生の取組を加速化・深化させるとともに、SDGs(持続可能な開発目標)の理念を踏まえ、具体的な課題解決等に取り組みます。

<第2期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)の概要>

[総合戦略(改訂版)の対象期間:令和2~9年度]

取組方針	取組の方向と具体的な施策	
<p><b>I 「しごと」をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島県に産業・雇用をつくる</li> <li>農林水産業や観光など重点的な振興を図る</li> </ul>	<p>◆ 働く場の創出</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>農林水産業の「稼ぐ力」の向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 農林水産業の生産・加工体制の強化、付加価値の向上</li> <li>イ 農林水産業の販路拡大・輸出拡大</li> <li>ウ 農山漁村の活性化</li> </ul> </li> <li>観光の「稼ぐ力」の向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 国内外における戦略的なPRの展開</li> <li>イ 魅力ある癒やしの観光地の形成</li> <li>ウ 戦略的な誘客の展開</li> <li>エ オール鹿児島県でのおもてなしの推進</li> <li>オ 観光関連施策の推進</li> </ul> </li> <li>企業の「稼ぐ力」の向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 生産性と付加価値の向上による産業競争力の強化</li> <li>イ 将来を担う新たな産業の創出</li> <li>ウ 中小企業の経営基盤の強化</li> <li>エ 県産品の国内外マーケットへの戦略的な展開</li> <li>オ 建設現場における生産性の向上</li> </ul> </li> <li>多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出</li> </ol>	<p>主な「目指すべき結果(評価指標)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業産出額:5,000億円(R7年度)</li> <li>スマート農業技術の導入件数:1,700件</li> <li>スマート水産業導入漁協等の件数:25件</li> <li>県産農林水産物輸出額:約500億円(R7年度)</li> <li>観光消費額:3,700億円(R6年)</li> <li>延べ宿泊者数:990万人泊(R6年)</li> <li>外国人延べ宿泊者数:150万人泊(R6年)</li> <li>付加価値の創出・向上につながった企業の割合:95%</li> <li>県内建築士事務所のBIM導入率:50%(R7年度)</li> <li>企業立地件数:290件(累計)(R2~9年度)</li> <li>起業支援後3年以上事業継続している事業者の割合:90%</li> <li>県産品の海外へ新規販路開拓した商品数:380商品</li> <li>年次有給休暇取得率:77%</li> </ul>
<p><b>II 「ひと」をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島県への人の流れをつくる・人を育てる</li> <li>鹿児島県で結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる</li> <li>誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会をつくる</li> </ul>	<p>◆ 誰もが活躍できる社会の実現、人材の確保・育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>誰もが活躍できる社会づくり</li> <li>移住・交流の促進、関係人口の創出</li> <li>地域産業等を支える人材(財)の確保・育成</li> <li>次世代をリードする人材の育成</li> <li>教育環境の整備</li> <li>高齢者が健やかで生きがいを持てる社会づくり</li> </ol> <p>◆ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>結婚、妊娠・出産の希望を実現できる社会づくり</li> <li>安心して子育てができる社会づくり</li> <li>子どもの夢や希望を実現する環境づくり</li> <li>子どもたちが未来に希望を持てる社会づくり</li> </ol>	<p>主な「目指すべき結果(評価指標)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県女性活躍推進宣言企業制度登録数:275社</li> <li>障害者雇用体験事業を活用した雇用移行者:160件(累計)</li> <li>市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数:16,000人(累計)(R5~9年度)</li> <li>高校生の県内就職率:現状以上の就職率(R4:61.0%)</li> <li>農業の担い手確保数:10,000経営体(R7年度)</li> <li>授業において「ほぼ毎日」コンピュータなどのICTを活用している学校の割合:小・中ともに80%</li> <li>認知症サポーターの養成数:241,000人</li> <li>かごしま出会いサポートセンターの会員の延べ成婚数:110組(R6年度)</li> <li>乳児死亡率(出生千人対):2.1以下(R6年度)</li> <li>保育所待機児童数:0人(R6年度)</li> <li>こども家庭センターの設置市町村数:43市町村</li> </ul>
<p><b>III 「まち」をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活力があり、安心・安全な暮らし、地域でのつながりがある、かごしまをつくる</li> </ul>	<p>◆ 時代に合った、安心・安全で活力ある地域づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域づくり</li> <li>安心・安全な暮らしづくり</li> <li>デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上</li> <li>地域間連携</li> <li>個性豊かで魅力ある景観づくりと活力あるまちづくり</li> <li>脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生</li> </ol>	<p>主な「目指すべき結果(評価指標)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内に定住した地域おこし協力隊員数:237人(累計)(R2~9年度)</li> <li>地区防災計画の策定状況:28地区</li> <li>障害福祉分野における介護ロボット等の導入施設数(入所系):39施設</li> <li>オンライン収納対応手続きにおけるオンライン収納率:10.3%</li> <li>マイナンバーカードを利活用した住民サービス向上のための取組を実施している市町村数:43市町村</li> <li>温室効果ガス排出量:毎年度削減</li> </ul>

※3つの取組方針に沿って、地方創生に向けた具体的な施策を展開する。



(4) マニフェスト ～みんなで作る「鹿児島県の今と未来」～

現在、我が国は、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、不安定な海外情勢による物価の高騰、グローバル化やデジタル化の進展、世界的な要請でもあるカーボンニュートラルの実現など大きな変革期の中にあり、これらへの様々な対応が求められています。

私は、こうした状況に的確に対応しつつ、将来を見据え、魅力ある本県の素材「ポテンシャル」を最大限に活かしながら、地域に仕事や人の流れをつくり、住みやすい地域、将来にわたって活力ある社会を形成していくことが重要であると考えております。

このため、本県の基幹産業である農林水産業、観光関連産業など鹿児島県の「稼ぐ力」の向上、地域や各種産業を支える人材育成、結婚、妊娠・出産、子育てしやすい環境の整備や高齢者が健やかで生きがいを持つ社会の形成など、「かごしま未来創造ビジョン」に掲げた各般の施策に積極的に取り組むことにより、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島県」を目指してまいりたいと考えております。

今後とも、「県民の皆さまと一緒に鹿児島県の今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」県政の推進に取り組んでまいります。

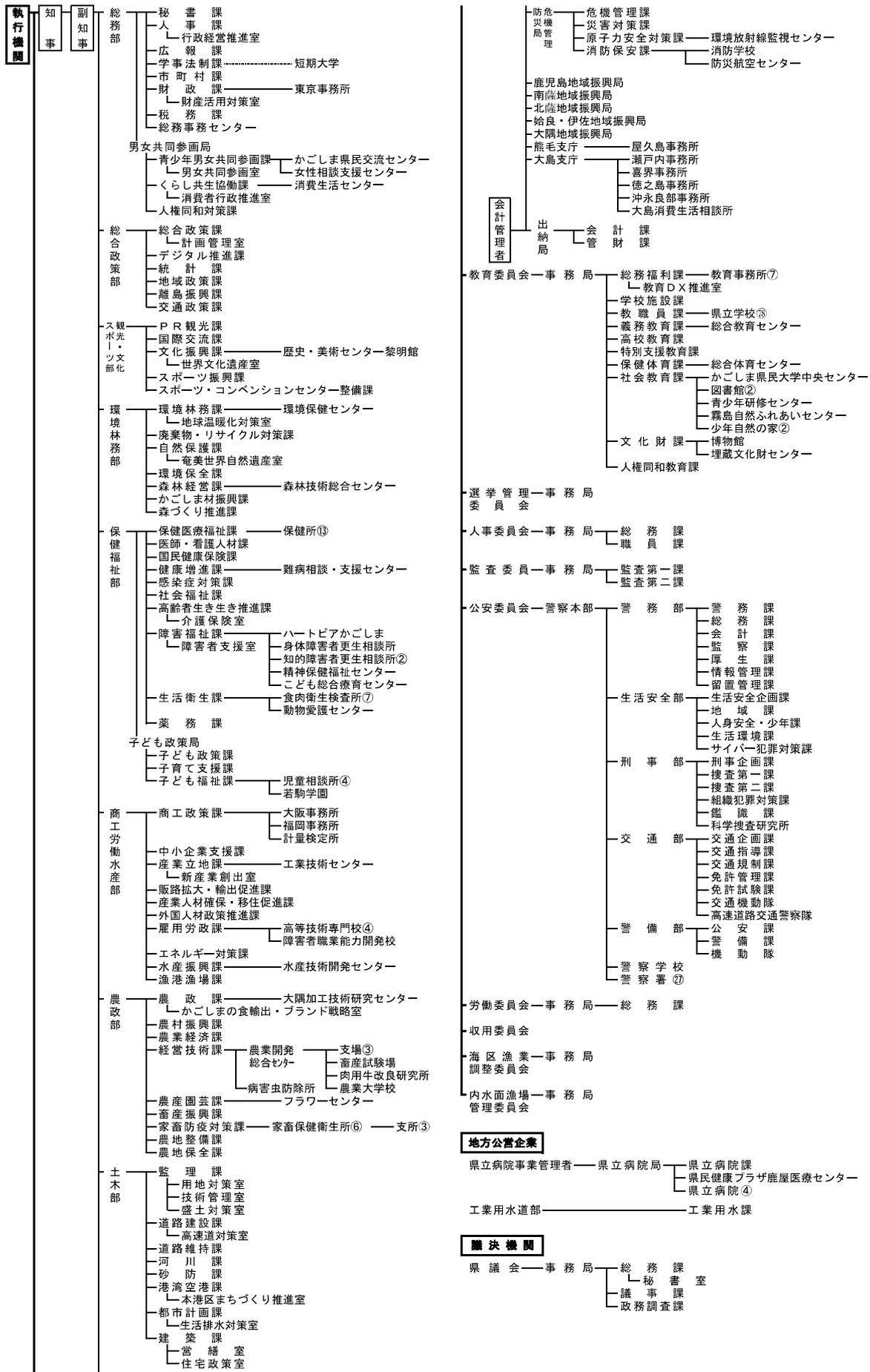
鹿児島県知事 塩田 康一

<p>原油価格・物価高騰への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原油価格や物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対して継続的に支援します。</li> </ul>
<p>「稼ぐ力」の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手の確保・育成や販売量の増加と販売単価の向上、生産コストの低減、国内外における販路開拓・拡大などによる農林水産業の「稼ぐ力」の向上に取り組めます。</li> <li>●国内外からの誘客促進、観光地の高付加価値化などによる観光関連産業の「稼ぐ力」の向上に取り組めます。</li> <li>●生産性の向上や研究開発の促進、スタートアップの創出や企業誘致などによる企業の「稼ぐ力」の向上に取り組めます。</li> </ul>
<p>人材の確保・育成、移住・交流の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者の県内就職やU I Jターン、外国人材の受入れ、女性や高齢者、障がい者等が活躍できる環境の整備などにより、地域経済を支える人材の確保に取り組めます。</li> <li>●移住・交流やワーケーションの促進などにより、県内外の人材による地域課題の解決、地域の活性化に取り組めます。</li> </ul>
<p>結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先進不妊治療支援、産後ケアの充実や保育士の確保、子ども医療費の現物給付化など結婚、妊娠・出産、子育ての段階ごとの課題に対応した総合的な支援に取り組めます。</li> </ul>
<p>デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通、医療、介護、教育、防災などあらゆる分野にデジタル技術を導入し、DXを推進することで、県民生活の利便性と質の向上や、産業分野における生産性の向上に取り組めます。</li> </ul>
<p>脱炭素社会の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県民、事業者、行政が一体となり、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減や気候変動への影響への対応など、脱炭素社会の実現に向けた取組を積極的に進めます。</li> </ul>
<p>奄美・離島の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●奄美・離島は、各島の特色ある独特の自然、文化、伝統、食、多様なコミュニティなど、多様性を有しており、まさに鹿児島県の宝です。今後とも奄美・離島のポテンシャルを活かしながら、一層の振興に取り組めます。</li> <li>●屋久島、奄美大島・徳之島の世界自然遺産としての価値を守り、継承しつつ、観光資源としても活用し、保全と利用の両立を図ります。</li> </ul>

これらのほか、「かごしま未来創造ビジョン」に掲げる各般の施策に取り組めます。

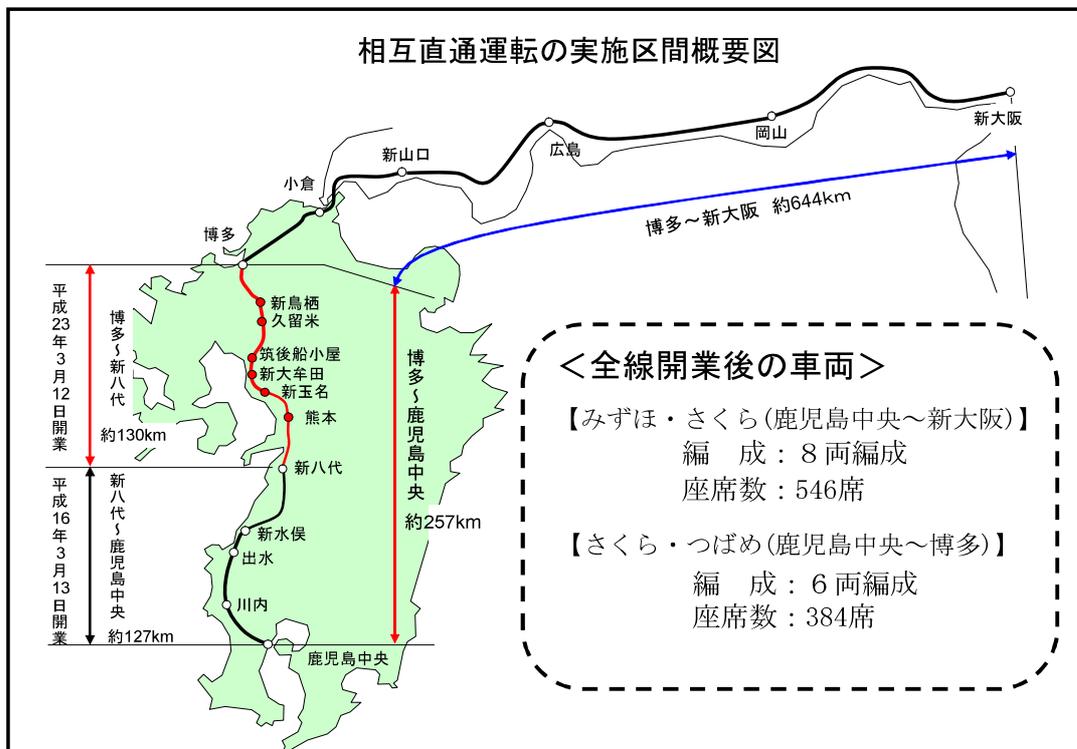
# 8 鹿児島県行政組織図 (令和7年4月1日現在)

[注] ○内の数字は出先機関などの数である。





★相互直通運転（九州新幹線・山陽新幹線）の実施区間概要図



★所要時間（最速タイプの列車「みずほ」）

区間	ダイヤ改正後A (R5. 7. 31時点)	全線開業時B (H23. 3. 12時点)	時短効果(A-B)	全線開業前C	時短効果(A-C)
鹿児島中央～博多	1時間16分	1時間19分	△3分	2時間12分	△56分
鹿児島中央～小倉	1時間33分	1時間36分	△3分	2時間38分	△1時間5分
鹿児島中央～広島	2時間19分	2時間23分	△4分	3時間34分	△1時間15分
鹿児島中央～岡山	2時間55分	2時間59分	△4分	4時間11分	△1時間16分
鹿児島中央～新神戸	3時間31分	3時間32分	△1分	4時間48分	△1時間17分
鹿児島中央～新大阪	3時間44分	3時間45分	△1分	5時間02分	△1時間18分

※ 「みずほ」停車駅：鹿児島中央、熊本、博多、小倉、広島、岡山、新神戸、新大阪

資料：総合政策部資料

「鹿児島県の航空ネットワーク」

鹿児島県の全路線数：35路線（R7年3月末現在）

【内訳】

●鹿児島空港発着路線

国内線：17路線（79往復／日）

国際線：4路線（16便／週）

●離島空港発着路線

鹿児島空港発着路線：7路線（28往復／日）

県内離島間路線：4路線（5.5往復／日）

県外路線：10路線（9往復／日）

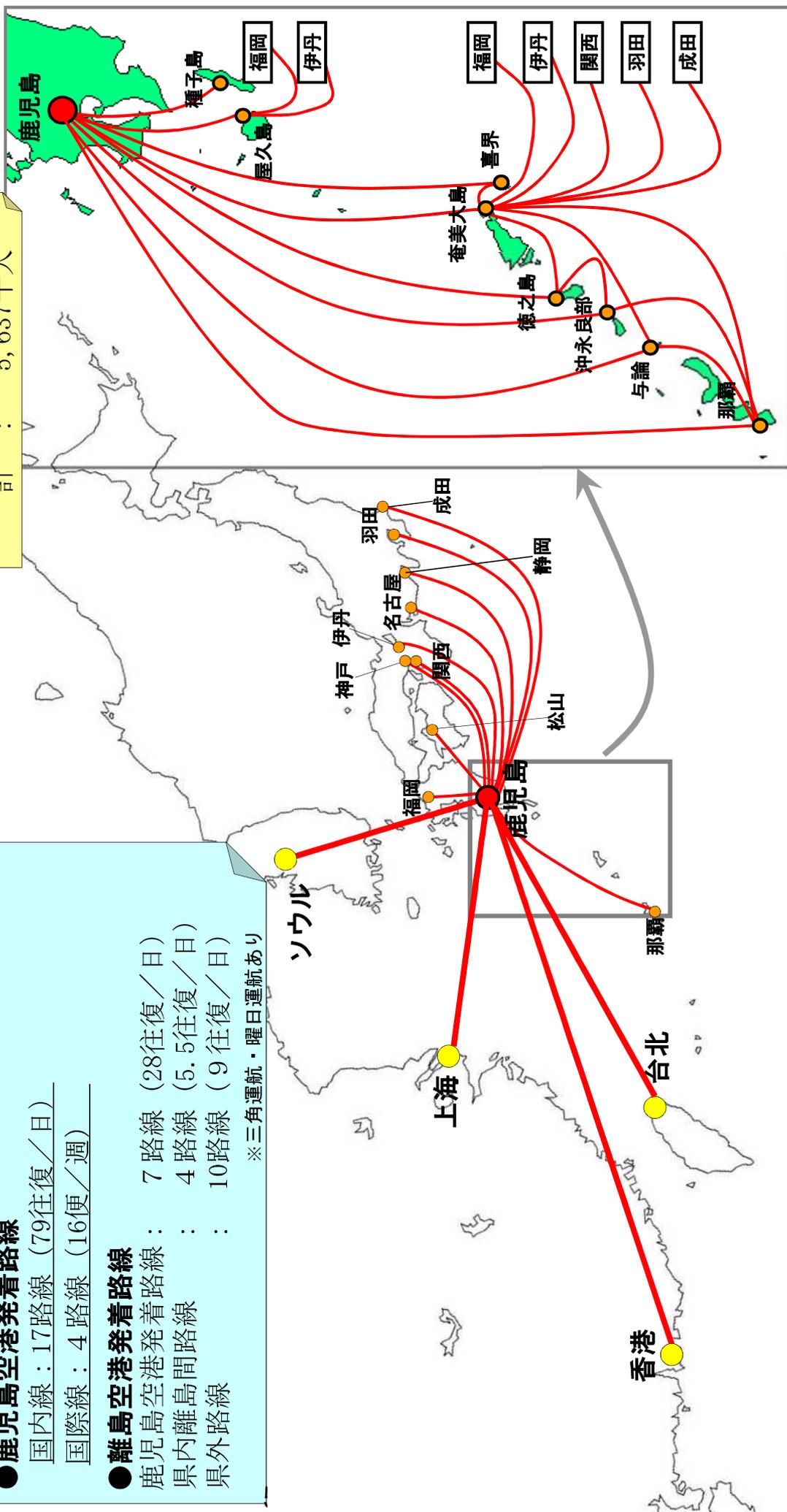
※三角運航・曜日運航あり

鹿児島空港利用者数（R6年速報値）

国内線：5,481千人

国際線：156千人

計：5,637千人



〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号  
鹿児島県議会事務局

 代表 099-286-2111

ホームページアドレス

<https://www.pref.kagoshima.jp/gikai/>